

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	つくば市
共同提案者名	ミライデザインパワー株式会社、中部電力ミライズ株式会社、株式会社常陽銀行、株式会社ニッスイつくば工場、大和ハウス工業株式会社茨城支店
選定回	第4回

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	防災・レジリエンス強化、中心市街地再生、資源循環、収益の地域還元
地域脱炭素の基盤創出	住民等の行動変容
需要家・エリア設定	市街地（オフィス街・業務ビル、商店街・商業施設等）
創出する再エネの種類・導入技術等	バイオマス発電（廃棄物、木質、魚油）、熱利用（廃食用油）、水素利用、高度なエネマネ（MG）

1-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left(\frac{2.13115842}{812,992} (\%) \right) + \left(\frac{2.49583232}{952,108} (\%) \right) \div 38,147,900 \text{ (kWh/年)} = 5 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	0					0				
	その他	656	2,952,000	0	0	0	0	0	0		
民生・業務その他	オフィスビル	8	11,146,150	100,610	0	0	557,331	657,941	799,548	643	
	商業施設	4	11,572,052	0	0	0	0	0	0	0	
	宿泊施設	2	3,346,567	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	7	4,793,841	0	0	0	0	0	152,559	67	
公共	公共施設	14	4,337,290	118,304	0	0	36,747	155,051	0	68	
	その他	0						0			
合計			38,147,900	218,914	0	0	594,078	812,992	952,108	778	

1-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
	20	73.225	0						93

1-3.「実質ゼロ」の達成見通し

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
6%	8%	33%	40%	100%	100%

2-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	17,415,740	20,830,234	222,130,818	12,609,120	3,484,648	0	234,142,143
	累計		0	17,415,740	38,245,974	260,376,792	272,985,912	276,470,560	276,470,560	510,612,703
実績	単年度		0	20,018,815	282,886					
	累計		0	20,018,815	20,301,701					

2-2.個別KPIの進捗状況

■指標1：スタートアップ創業数(件)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	7	8	9	10	11	12	13	14
	累計	40	47	55	64	74	85	97	110	124
実績	単年度	40	14	16	—					
	累計	40	54	70	—					

■指標2：新規立地希望者及び市内移転希望事業者へのフォローアップ支援件数(件)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	4	5	6	7	8	9	10	11
	累計	6	10	15	21	28	36	45	55	66
実績	単年度	6	9	7	—					
	累計	6	15	22	—					

■指標3：センター広場への休日歩行者流入量(万人)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	累計	0.83	0.88	0.93	0.98	1.03	1.08	1.13	1.18	1.23
実績	単年度	0.83	0.01	0.39	—					
	累計	0.83	0.84	1.23	—					

■指標4：つくば駅周辺のにぎわいを「満足」、「どちらかといえば満足」を選択した人の割合(%)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	37.2	37.55	37.9	38.25	38.6	38.95	39.3	39.65	40
	累計									
実績	単年度	37.2	43.6	45.6	—					
	累計									

実績詳細	<p>○令和6年度までのKPIの進捗は、横展開の取組を活発に行ったことで、順調に進んでいる。</p> <p>○令和7年度の個別KPIの実績値は、令和7年度末に確定する予定である。</p>
------	---

3.横展開の可能性について

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

●自治体外への横展開

- 他自治体に対して、脱炭素先行地域の取組紹介や視察の受け入れ、取組に関するアドバイスを実施している。
- 茨城県が主催する「再生可能エネルギーの導入促進に関する研修会」において、「つくば市で実施している事業や今後の展開について」と題した講演を行った。
- 第8回日仏自治体交流会議プログラムの一環として、「脱炭素社会の実現と魅力ある地域づくり」と題した講演を行った。
- 国外に対しても、脱炭素先行地域の取組を紹介している。
 - ・令和6年（2024年）9月27日にドイツのポーフム大学との意見交換会実施
 - ・令和7年（2025年）2月26日にフィンランドのタンペレ市の環境部門責任者との意見交換会実施

●市内の先行地域外への横展開

- つくば市内に脱炭素先行地域の取組を横展開するため、イベント開催時に脱炭素先行地域のPRや取組内容の紹介を行っている。
 - ・令和6年（2024年）7月19日～21日につくばセンター広場で開催した「つくばクラフトビアフェスト2024」において、脱炭素先行地域のPRを行った。
 - ・令和7年（2025年）3月1日にイーアスつくばで開催した「つくばスーパーサイエンスデイ」において、脱炭素先行地域の取組を紹介した。
 - 筑波大学と連携し、脱炭素先行地域のブランディングのためのキャッチコピー「ONE TO ZERO」とそれを表すロゴマークを作成した。
 - エリア内施設の省エネ改修・再エネ導入事例を市内全域に横展開するため、共同提案者である(株)常陽銀行と、省エネ改修・再エネ導入のモデル事例集の作成を進めている。
 - 今後の展開の可能性としては、つくば市がリーダーとなっているつくばスマートシティ協議会グリーン分科会を定期的に開催し、脱炭素先行地域の成果の共有を図る予定となっている。また、共有した成果に加え、グリーン分科会の参加企業が有する技術・知見を組み合わせることで、様々な地域課題に対応したグリーン分科会サブグループの立上げを検討中である。サブグループの立上げを通して、さらなる横展開の可能性を検討したい。
- <グリーン分科会開催状況>
- ・第1回分科会（令和7年（2025年）3月27日）：脱炭素先行地域サブグループを設立した。また、令和5年度の実績を報告した。
 - ・第2回分科会（令和7年（2025年）10月6日）：先行地域の取組として、葉刈芝のブリケット化に関する検討状況を共有した。

4.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

- 令和8年度4月1日策定予定の第4次つくば市地球温暖化対策実行計画区域施策編において、施策の一つに脱炭素先行地域づくり事業の推進を掲げている。
- 第3期つくば市戦略プラン（令和7年（2025年）3月策定:旧総合計画の基本計画に該当）において、特に考慮すべき課題の一つに脱炭素施策の推進を掲げ、「脱炭素先行地域」として、他自治体のモデルとなる施策の実行が求められるとしている。
- つくば市都市計画マスタープラン及びつくば市立地適正化計画（令和7年（2025年）1月策定）において、脱炭素まちづくりの方針として、脱炭素先行地域の取組を市内の他地域にも波及させることとしている。また、脱炭素先行地域が含まれる中央エリアの整備方針として、脱炭素先行地域の実現を掲げている。